

表1. MFTの生育ステージ、除草剤を用いた防除体系および今回検討した耕種的防除法.

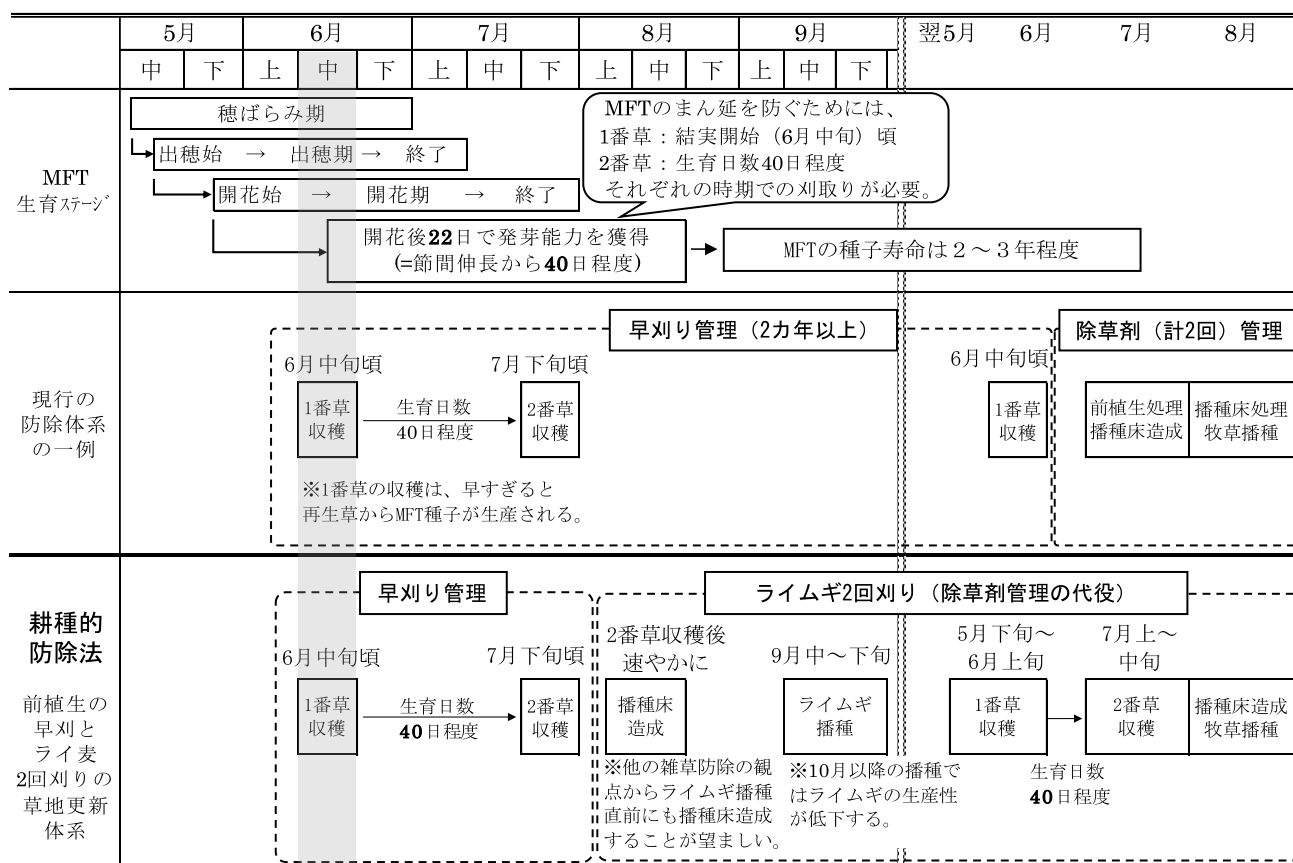


表2. 草地更新翌年の更新圃場および対照圃場のMFTの出穂本数と冠部被度（2021年6月14日）.

	MFTの出穂本数 (本/㎡)	MFTの冠部被度 (%)
A圃場	5.0	10
抜き取り区	0.1	0~1
B圃場	1.8	5
抜き取り区	0.3	0~1
経年草地 ¹⁾	128.0	93

1) B圃場に隣接し、MFTが優占する採草圃場。



図1. メドウフォックステイルの出穂の様子.

表3. 牧草播種当年のライムギの生産性（2020年）.

	生草収量 (kg/10a)		乾物率 (%)		乾物収量 (kg/10a)		
	1番草	2番草	1番草	2番草	1番草	2番草	年間合計
A圃場	2,766	1,072	14.2	17.5	394	188	582
B圃場	3,575	1,391	13.9	16.9	497	235	732

※1番草は2020年5月27日（出穂期）、2番草は7月1日（出穂期）にそれぞれ調査した。

詳しい内容については、次にお問い合わせ下さい。
 道総研畜産試験場 畜産研究部 飼料生産技術グループ 今 啓人
 電話 0156-64-0621 FAX 0156-64-6151
 E-mail kon-akihito@hro.or.jp